



新型コロナウイルスの影響で異例のスタートとなりました。授業はありませんが、家庭学習を続けましょう。検定やみなさんそれぞれの進路に向けて、積極的に学習に励んでください。

学校は休校中ですが、進路指導部では、4月から早速、皆さんの希望進路を実現するために始動しています。しかし、口を開けて待っているだけではいけません。いろいろと大変な時ですが、今自分がやらなければならないことをしっかり考え、力強く踏み出しましょう！

自習室について

学校再開次第、2棟2階の221教室を自習室として開室する予定です。

1年生から3年生まで誰でも利用できます。本棚には進路に関する資料や、過去の赤本等を常備し、学習しやすい環境になっています。

ぜひ活用して、学力を高めましょう！

☆利用可能時間・・・月曜日～金曜日 放課後19時まで（考査期間中は閉鎖）

資料の貸出について

貸出期間 右の図①の赤本等問題集・・・・・・・・貸出日含め1週間

貸出手順 1. 初めて借りる場合は、進路指導部の先生に申し出て、貸出カードを受け取り、必要事項を記入する。

- (1) 学年・組・番号・氏名 (2) 資料の整理番号・資料名
- (3) 貸出日・返却予定日

返却手順 1. 貸し出しカードに返却日を記入する。

2. 資料を元の位置に戻す。

⇒ 右の図の資料について（説明） ⇒

①赤本・問題集 → 貸出可

大学別の過去問（いわゆる赤本）が、京都の大学を中心にそろえてあります。

②学校別要項等 → 閲覧のみ

大学や短大などから送られてくる入試要項や学校案内などを、学校別にファイルしてあります。

③就職関係書類 → 閲覧のみ

求人票や進路関係の資料があります。

④専門学校や看護医療系の資料等 → 閲覧のみ

各学校から送られてくる入試要項や学校案内などを分野別にファイルしてあります。

⑤過去問 → 貸出可

大学から送られてくる過去問が整理されています。推薦入試の学校別過去問題はこのコーナーにあります。

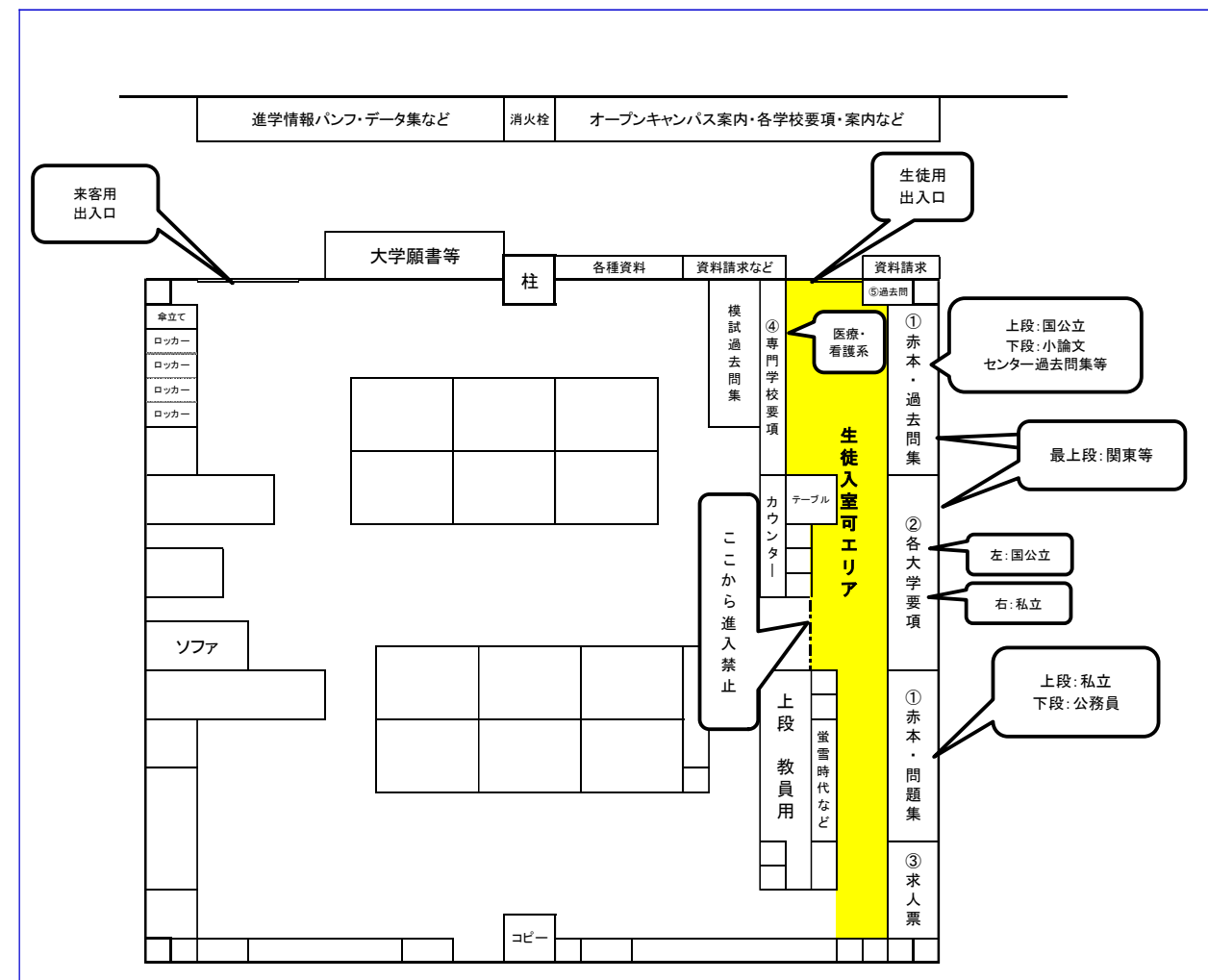
進路指導室の見取り図

2棟1階東側にあります。進路について調べたいことや相談したいことがあればいつでも活用してくださいね。

【進路指導室に入る時の注意点】

- ① 入る前に身だしなみを整える。
- ② 入ったら「学年・組・氏名・用件」をはっきり述べる。

進路指導室には大学や企業等からよくお客様が来られます。進路指導室に用事があるときは、特に言葉遣い等に注意をしましょう。進路指導室は「社会の入り口」です！





1日1回 Classi をログインしよう！

北嵯峨高校では学習支援システム「Classi」を導入しています。Classiでは、学習記録の蓄積や学習動画を用いた学習、問題演習等を行います。また、学校からの情報発信や部活動や補習の登録も Classi で行います。Classi の使い方をよく理解して、北嵯峨高校の生活に慣れよう！

画面右下にある「その他」を押してみよう！！



①Web テストに解答
②web ドリルで問題演習
③学習動画で復習

④模試のデータを確認

⑤アンケートの回答

⑥日常の記録を入力
(行事等の感想や授業、家庭学習、部活動など日々の感じたことを記録)

③学習動画は画面右下の「検索」を押してみて！教科・単元等を選んで見たい動画を検索できるよ！

配信されたら「お知らせ」に通知がくるので、見逃さないようにね！自分でも積極的にどんどん活用していこう！！



①Web テスト ②Web ドリル ③学習動画

学習に係わる3大機能だ！まずは、①Web テストで先生から配信される授業の予習復習テストをこなそう。テストの点数や自分の間違えた問題を確認し、復習することができるぞ！つづいて、②Web ドリルや③学習動画を自分でどんどん予習復習に使おう。自分で教科・科目・単元・難易度を選んで問題演習ができる。高校の勉強はただ授業を受けるだけではなく学習内容は定着しない！自学自習の習慣を身につけよう！

④成績カルテ

ベネッセ・総合学力テストの成績を見ることができる。紙よりも早く成績が確認できるので、受験後の気持ちが熱いうちにテストを振り返り、次回の模試やテストへの目標を立てよう！

⑤アンケート

部活動や補習の登録、授業評価アンケートや進路希望調査の回答、授業内容についての意見など、様々な場面で活用する。これが使えるようになって初めて北嵯峨っ子になれる！！

⑥ポートフォリオ

ポートフォリオには、日々の学習の気づき、部活動実績、テストの振り返り、進路の悩み、将来の夢などさまざまなことを記録できる。北嵯峨高校では、定期考査の振り返りや学校祭の感想、学年末に1年間の振り返りなどにこの機能を活用する。

なぜ日々の活動を記録することが大事なのだろうか？それは、自らの成長を客観的に振り返るきっかけとなり、新たな気づき・発見や行動につながるからだ。たとえば、目標や計画を記録して日々の取組状況や気づきを記入していけば、振り返った時に自分の成長が見えてきたり次の目標のヒントになる。

また、この学びの記録の蓄積は新しい入試にもつながる。これからの時代は「学力の3要素」を伸ばすことが求められている。教科の「知識・技能」だけでなく、「思考力・判断力・表現力」と「学びに主体的に取り組む態度」を多面的・総合的に評価されるため、「調査書」「活動報告書」などの出願書類が大切な役割を果たす。しかし、出願直前に高校3年間を振り返るのはなかなか難しい。そこで成長の足跡や高校生活の中で深めてきた学びをポートフォリオに残しておけば、それを参考にしてこれまでの成長とこれからの可能性を示す出願書類を書く助けとなる。1年生の今から気づいた時にどんどん記録していこう！